

日本植物学会第79回大会 公開講演会

# 佐渡島の自然環境 と植物



日時

2015年9月5日(土)

14:00~16:30 (開場13:30)

場所

新潟日報メディアシップ 2F 日報ホール

定員

230名 (先着順)

主催



公益社団法人 日本植物学会

The Botanical Society of Japan

後援

新潟大学、新潟市教育委員会、佐渡市教育委員会、新潟県教育委員会

入場無料



## ごあいさつ

新潟の北の日本海に位置する佐渡島には、標高1172mの金北山に代表される大佐渡山地周辺ではブナを始めとする冷温帯の植物が分布するだけでなく、ハクサンシャクナゲやオサバグサなどの亜高山帯性の植物も分布しています。また、大佐渡山地の尾根沿いには、冬季の強風や深雪によって多様な形態をとっているスギの天然林が分布しています。海岸沿いにはタブノキなど暖温帯の照葉樹林も分布し、一つの島の中に多様な植物相が見られます。しかし、この佐渡島の植物相も歴史的に人為の影響を受け続けてきました。ドンデン高原を中心とする大佐渡山地の尾根沿いでは昔から牛の林間放牧が行われ、半自然草場が発達してきました。また、江戸時代からは佐渡金銀山の営みによって、周囲の森林が伐採されてきました。本公開講演会では、新潟県、特に佐渡島の植物について研究を進めている専門家の方に、佐渡島の植物の生態系について自然環境と歴史的な人間との関わりについてわかりやすく講演していただきます。本公開講演会を通して、植物が周りの環境にどのように適応して生活しているかについて理解を深めていただくとともに、佐渡島の魅力を再認識していただければ幸いです。

(新潟大学農学部 崎尾 均)

## プログラム

- 13:30 開場
- 14:00 開会の挨拶
- 14:05 「佐渡島の植物相の多様性—風雪が創ったスギの芸術」  
新潟大学農学部フィールド科学教育センター佐渡ステーション 教授 崎尾 均
- 14:30 「多雪地域におけるコケ植物の分布と生態」  
新潟薬科大学薬学部 教授 白崎 仁
- 14:55 「ユキツバキとヤブツバキが共に生きる島—植物の形と系統のはなし」  
新潟大学農学部フィールド科学教育センター佐渡ステーション 助教 阿部 晴恵
- 15:20 休憩
- 15:30 「雪が育むブナの森の植物たち」  
十日町市立里山科学館キョロロ 研究員 小林 誠
- 15:55 「牛の林間放牧と草地の生態—ドンデン高原の今と昔」  
箱根植木株式会社 宮島 伸子
- 16:20 総合討論
- 16:30 閉会の挨拶

## 本講演会にはどなたでも参加できます

### 会場案内

新潟駅から新潟日報メディアシップまで

バス…約8分、タクシー…約5分  
徒歩…約10分

### お問い合わせ

公益社団法人日本植物学会  
第79回大会 大会事務局

<http://bsj.or.jp/bsj79/mail.html>

